

侵入者対策避難訓練



5年2組で不審者に対応する先生方

3日(水)の5時間目に、不審者侵入対策のための避難訓練を実施しました。今年は5年2組に不審者が侵入したという想定で、不審者侵入を連絡する児童、教室で不審者を足止めにする先生、他の児童を避難させる先生、5の2に応援に駆けつける先生など、いろいろな役割分担のもとに訓練を実施しました。

太田警察署スクールサポーターの田島さんが不審者に扮して、5年2組で実際の状況に近い演技をしてくださいました。訓練後、全員でその模様を録画した映像を体育館で見ましたが、その緊迫感は他のクラスの子どもたちにも十分伝わったようです。

このような避難訓練は、17年前に大阪の池田小で児童殺傷事件が起きてから、全国で実施されるようになったもので、訓練ではできるだけ不審者のいる場所から離れるように、侵入した教室を避けながら静かに体育館に避難します。今回かかった時間は4分1秒。昨年のタイムより54秒も早く避難することができました。



説明を受ける子どもたち

声を出して廊下を歩いたり階段を降りたりしてくる児童はほとんどおらず、静かに整然と避難できていたのがよかったです。避難の様子を見守っていただいた太田市スクールガード・リーダーの原口さんからは、100点満点の避難ができましたと、おほめの言葉をいただきました。

今回のケースでは、声を出すということは、自分の居場所を不審者に教えることになるだけでなく、大勢の人がいる場所では、自分以外の人も巻き込むこととなります。中には無差別に人をねらう不審者もいるので、大きな音をたてることは、被害を拡大させる恐れがあるということ子どもたちに伝えました。



説明を受ける子どもたち

訓練後の集会では、田島さんから、今年川崎で起きた事件や大阪で起きた事件を例に、「『イカのおすし』をしっかり守る」ことと「(本当に危ない時は)迷わず大声で『助けて』と叫ぶ」そして、先生の言うことを守るというお話をいただきました。

夏休みに入ると子どもたちの外出の機会も増えてと思いますが、ご家庭でもぜひ、不審者対応についての約束事をお子さんと話し合っただけければ幸いです。

イカのおすし(警視庁 防犯標語)

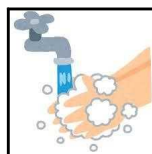
- | | | |
|----|---------|----------------------|
| イカ | ない | (知らない人についていかない) |
| の | らない | (知らない人の車にのらない) |
| お | おごえでさけぶ | (「助けて」とおおきな声を出す) |
| す | ぐにげる | (こわかったら大人のいる方にすぐにげる) |
| し | らせる | (どんな人が何をしたら家の人にしらせる) |



児童集会(保健委員会)

7月5日(金)朝行事

5日(金)の児童集会では、保健委員会の子どもたちが、「手洗いの大切さ」と題して保健劇を見せてくれました。「博士」「助手1、2」「妖精1、2」という役割演技の中で、強戸小の多くの子が手を洗う習慣がついていることを発表してくれました。それでもかぜをひく子はたくさんいるよという話から、手の洗い方に問題があると考え、歌に合わせて手の洗い方を伝えるという劇でした。



次に「手洗いアンケート」の結果を発表してくれました。

- ◆ 外で遊んだ後に手を洗っていますか？
※いつも洗う 70% ときどき洗わない・洗わないことが多い 30%
- ◆ 給食前に手を洗っていますか？
※いつも洗う 90% ときどき洗わない・洗わないことが多い 10%
- ◆ トイレに入った後に手を洗っていますか？
※いつも洗う 84% ときどき洗わない・洗わないことが多い 16%
- ◆ ハンカチを持っていますか？
※いつも持っている 84% ときどき忘れる・忘れることが多い 39%
- ◆ ハンカチを忘れたときどうしますか？
※着ている服でふいている・ティッシュでふく・ふかないで乾かす など

強戸小の多くの方が手を洗う習慣が身につけていました。毎日きちんと手を洗い、ハンカチでふくようにしましょう。そしてうがいもするといいですね。



ご家庭でもぜひ、手洗いの大切さについてお子さんと確認してみてください。